

[R6: 899億円→R7: 962億円(前年度比63億円(7.0%)増)]

困難を抱える子どもへの支援

[R6: 111億円→R7: 118億円(前年度比7億円(6.4%)増)]

不登校やいじめといった学校に関する問題、待機児童や児童虐待といった子育て環境に関する問題など、困難を抱える子どもへの支援を充実させます。

- ▶ 困難な状況にある子どもや家庭への支援
- ▶ 児童虐待防止・社会的養育の推進
- ▶ 幼児教育・保育の充実
- ▶ 学校における働き方改革と教員不足への対応

「子どもを虐待から守る条例」の改正

令和7年 議案提出予定
令和5年5月に発生した児童の死亡事例、児童虐待相談件数の増加、児童福祉法の改正などを受けて、児童虐待対応の強化を図るために改正。

【改正の論点となっている項目】

- ・条例の対象範囲(虐待の未然防止、早期発見・対応などを推進)
- ・子どもの権利擁護(児童福祉法の改正を受けた子どもの意見聴取)
- ・子育て支援による未然防止の重点化(支援が必要な保護者の早期発見・対応)
- ・市町や警察など関係機関との連携強化(連携体制を整備する指針)
- ・人材育成(人材育成計画に基づく研修体系)

主な事業

- 「子どもを虐待から守る条例」の改正をふまえた人材育成や関係機関との連携(【新】120百万円)
- 学校に代わる居場所としてのフリースクール支援(【新】115百万円)
- 保育士確保に向けた「三重県保育士・保育所支援センター」における人材バンク機能強化(【新】70百万円)

[R6: 674億円→R7: 778億円(前年度比104億円(15.5%)増)]

子どもの希望を育む

[R6: 72億円→R7: 91億円(前年度比19億円(26.3%)増)]

子どもたちが未来に希望をもって成長できるよう、変化の激しい社会の中でも自分らしく生き抜いていく力の育成や、子どもが豊かに育つ環境づくりをさらに進めます。

- ▶ 自分らしく生き抜いていく力の育成
- ▶ 子どもが豊かに育つ環境づくり
- ▶ 三重県誕生150周年

「三重県子ども条例」の改正

令和7年2月 議案提出予定
子どもを取り巻く環境の変化や、子どもの権利侵害が増加している状況を踏まえ、子どもの権利保障に向けた基本事項を整備するために改正。「こども政策検討会議」を計6回開催し、子どもの意見を取り入れて策定。

【改正の視点】

- ・子どもの権利を守ることを正面から捉える
- ・子どもの健やかな育ちを支える多様な施策を推進する
- ・子どもに必要な情報を提供したうえで、意見を聴き、尊重する
- ・子育て家庭に寄り添ったさまざまな支援を実施する

主な事業

- 「三重県子ども条例」の改正をふまえた取組の推進・啓発(【新】41百万円)
- 子ども医療費の現物給付に係る市町補助の対象を中学生年齢の入院まで拡大(【新】193百万円)

産業の成長支援

[R6: 421億円→R7: 444億円(前年度比23億円(5.5%)増)]

産業の力強い成長に向けて、社会情勢の変化や気候変動に対応した産業振興に取り組みます。

- ▶ 成長産業の育成
- ▶ 農林水産業の生産性向上
- ▶ 環境変化へ対応した農林水産業
- ▶ 再生可能エネルギー
- ▶ 産業を支えるインフラ整備

主な事業

- 半導体関連産業の集積や投資促進(【新】23百万円)
- スタートアップ創出支援(【新】60百万円)
- 洋上風力発電に係る国の次期実証事業への応募を見据えたポテンシャル調査の実施(【新】5百万円)
- 真珠、青さのり、マタ養殖における遺伝情報を活用した育種の実施、新魚種導入の検討(【新】30百万円)

観光・プロモーションの推進

[R6: 26億円→R7: 37億円(前年度比11億円(43.9%)増)]

「三重県プロモーション推進方針」に基づいて、世界に誇れる三重の豊かな地域資源を生かして、さまざまな主体と連携し、誘客促進や県産品の振興に取り組みます。

- ▶ インバウンド誘客
- ▶ 世界遺産 熊野古道を生かした誘客
- ▶ 戦略的な観光誘客
- ▶ 文化を生かしたプロモーション
- ▶ 多様な主体と連携したプロモーション
- ▶ 県産品のプロモーション

主な事業

- インバウンド誘客に関する戦略策定(【新】16百万円)
- インバウンドに対応した受入環境の充実への支援(【新】608百万円)
- 伊勢茶のブランド展開戦略の構築、海外プロモーションや関西茶品評会でのブランド価値向上に向けた支援(【新】15百万円)

防災・暮らしの安全安心

[R6: 788億円→R7: 844億円(前年度比56億円(7.1%)増)]

南海トラフ地震対策、医療提供体制の確保、増加する犯罪の防止など、人権が尊重され、県民の暮らしの安全安心を守る取組を強化します。

- ▶ 南海トラフ地震対策の強化に向けた取組
- ▶ 人権
- ▶ 医療提供体制の確保
- ▶ 暮らしの安全安心
- ▶ 健康づくり
- ▶ 福祉
- ▶ 環境
- ▶ 戦後80年

「三重県性暴力の根絶をめざす条例(仮称)」の制定

令和7年9月 議案提出予定
被害者の尊厳を著しく踏みにじり、その心身に長期にわたり重大な悪影響を及ぼす性暴力・性犯罪の根絶に向けて条例を制定

【基本的施策】

- ・性暴力の予防(予防教育等の推進、県民の理解促進と気運醸成、性暴力のない社会を考える週間)
- ・被害者等への支援(総合的な相談体制の整備、早期発見・早期対応、被害者等への支援)
- ・性暴力のない社会の構築(性暴力の再発防止、性暴力のない環境の整備)

主な事業

- 孤立地域対策や避難所環境改善支援のための「いのちを守る防災・減災総合補助金(仮称)」創設(【新】334百万円)
- 「三重県性暴力の根絶をめざす条例(仮称)」に基づく周知・啓発等(【新】12百万円)
- SNS等に起因する犯罪の被害防止のため、ターゲット広告による注意喚起(【新】45百万円)
- 沖縄「三重の塔」の苑内環境整備事業(【新】68百万円)

人口減少対策の着実な推進

[R6: 113億円→R7: 134億円(前年度比20億円(17.7%)増)]

「三重県人口減少対策方針」に基づくさまざまな取組を進めて人口減少の緩和をめざすとともに、適応策を検討するなど効果的な取組を着実に進めます。

- ▶ ジェンダーギャップ解消
- ▶ 移住
- ▶ 自然減対策
- ▶ 公共交通の維持・確保
- ▶ 人口還流、賑わいの創出
- ▶ 調査・分析、適応策
- ▶ 行政サービスのDXの推進

主な事業

- ジェンダーギャップ解消に向けた戦略の策定(【新】4百万円)
- 家事代行サービス利用補助の促進(「みえ子ども・子育て応援総合補助金」R6:300百万円→R7:330百万円)
- 移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションの実施(【新】27百万円)
- 公共ライドシェアの導入など交通空白の解消に取り組む市町への支援(【新】130百万円)

人材確保対策の本格展開

[R6: 42億円→R7: 74億円(前年度比31億円(73.3%)増)]

企業等の活動にとって喫緊の課題となっている人材確保について、令和6年度に策定予定の「三重県人材確保対策推進方針」に基づき、全庁を挙げて対策を進めます。

- ▶ 働きやすい職場環境づくり、多様な人材の就労支援
- ▶ ジェンダーギャップ解消(再掲)
- ▶ 外国人労働者の受入体制の整備と多文化共生の推進
- ▶ 地域が求める人材の育成(リスキリング)
- ▶ 適正取引・価格転嫁、生産性向上
- ▶ 物流対策
- ▶ 学校における働き方改革と教員不足への対応(再掲)

三重県カスタマーハラスメント防止条例(仮称)の制定(時期未定)

近年、顧客や取引先からの暴力や悪質なクレーム等の著しい迷惑行為による被害が社会問題となっていることから、カスタマーハラスメントの防止に関する基本理念や県及び事業者等の役割を明らかにするため、条例を制定する。

【条例で定める主な項目】

- ・基本理念(カスタマーハラスメント行為の禁止など)
- ・カスタマーハラスメントの定義、対象とすべき範囲
- ・カスタマーハラスメント防止に向けた各主体の責務規定
- ・県の施策(指針策定、防止取組)

主な事業

- カスタマーハラスメントの防止に係る条例の制定、対策に取り組む企業支援(【新】122百万円)
- 移住や就職への関心がまだ高い層に対する三重で暮らす・働く魅力の発信(【新】10百万円)
- 海外合同面接会による現地大学生等と中小企業とのマッチング機会創出(【新】140百万円)
- 短時間正社員制度等の導入・活用の促進(奨励金の支給、専門家による伴走支援等)(【新】33百万円)
- 物流事業者による女性・外国人等の多様な人材確保等の取組を支援(【新】15百万円)

※国の経済対策等を受けて一体的に編成する令和6年度12月補正(その2)(公共事業)・1月補正・2月補正(その1)予算と合わせて、8,714億円
※本資料の掲載事業には一部2月補正(2月補正その1)を含みます。

1. **子ども・子育て支援** ~みえ子どもまるごと支援パッケージ・3rdステージ~
2. **ジェンダーギャップ解消に向けた取組**
3. **南海トラフ地震対策の強化に向けた取組**
4. **移住の促進**
5. **公共交通の維持・確保**
6. **成長産業の振興**
7. **農林水産業の振興**
8. **観光振興**
 - インバウンド誘客 反転攻勢への対応 / ● 観光誘客のさらなる推進

令和7年度当初予算 主要事業の紹介

□全て新規事業又は新規性のある取組を掲載しています。括弧書き()は資料1-1「令和7年度当初予算と条例のポイント」の関連項目です。

子ども・子育て支援 ~みえ子どもまると支援パッケージ・3rdステージ~

I. 県民の命と尊厳を守る / 1. 困難を抱える子どもへの支援
II. 未来を拓く / 1. 子どもの希望を育む

R 5 当初：98.6億円 [前年度比22%増]
R 6 当初：106.3億円 [前年度比7.8%増]
R 7 当初：112.4億円 [前年度比5.8%増]

- 子ども医療費の現物給付に係る市町補助の対象を中学生年齢の入院まで拡大 [193百万円]

R5:未就学児の現物給付に係る所得制限の一部廃止(+1.3億円)
R6:医療費補助の対象を中学生年齢の入院まで拡大(+1.5億円)

- 学校に代わる居場所としてのフリースクール支援 (事務局職員の人件費・施設賃借料・修繕費等の運営経費補助) [15百万円]
- 保育士確保に向けた「三重県保育士・保育所支援センター」における人材バンク機能の強化 [7百万円]



ジェンダーギャップ解消に向けた取組

II. 未来を拓く / 4. 人口減少対策の着実な推進
5. 人材確保対策の本格展開

R 7 当初：5億円 [前年度比9.5%増]

弱点克服:ジェンダーギャップ指数(経済分野)が全国で46位

- ジェンダーギャップ解消に向けた戦略の策定 [4百万円 (一部2月補正(その1))]
- 短時間正社員制度等の導入・活用の促進 (奨励金の支給、専門家による伴走支援等) [33百万円]
- 家事代行サービス利用補助の促進 (みえ子ども・子育て応援総合補助金) [R6:300百万円→R7:330百万円]



令和7年度当初予算 主要事業の紹介

南海トラフ地震対策の強化に向けた取組

R7当初：37.7億円 [前年度比14.8%増]

1. 県民の命と尊厳を守る / 2. 防災・暮らしの安全安心

- 孤立地域対策や避難所環境改善に取り組む
市町への支援
(いのちを守る防災・減災総合補助金(仮称)) [334百万円]
- シミュレーションルーム及びオペレーションルーム
の機能強化 [42百万円]
- 空中消火実施体制の強化を図るため、自立式消火
バケットの購入及び自衛隊との協定の締結 [5百万円]

能登半島地震では発災直後より延べ約18,000人を派遣
支援活動で得た多くの「気づき・課題」を80項目にとりまとめ



令和7年度当初予算 主要事業の紹介

移住の促進

R7当初：4.4億円 [前年度比24.8%増]

II. 未来を拓く / 4. 人口減少対策の着実な推進

- 移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションの実施 [27百万円]
- 県独自の移住フェア、移住セミナー等の開催 [28百万円]

ニーズや特性に応じたモデルを設定し、それぞれにアプローチ



県内への移住者数
H27:124人→R5:757人

UP!!

4つのモデル		
	暮らし重視	仕事重視
都市部	①仕事を变えずに移住 ベルソナ例)愛知県在住の夫婦。子どもの3人暮らし。子育てしやすい環境での生活を希望しているが、今の仕事を続けたいので転職は考えていない。	②仕事を見つけて移住 ベルソナ例)関西在住の20代後半女性。都会生活から離れ、今の居住地から比較的近い近畿での移住先を仕事優先で検討している。
地方部	④自然環境や暮らしを重視して移住 ベルソナ例)関西在住の30代共働き夫婦。フリーランスのまま、憧れの海が見える場所での暮らしを希望。将来、家族が増えることを考え、子育て環境も考慮している。	③やりたいことの実現にむけて移住 ベルソナ例)首都圏在住の30代単身男性。企業勤め。自然豊かな場所での農業に憧れがあるが未経験であるため就農サポートが必要。一軒家を希望している。

※ベルソナ…モデル毎に設定する具体的な人物像

公共交通の維持・確保

R7当初：12.9億円 [前年度比1.7%増]

II. 未来を拓く / 4. 人口減少対策の着実な推進

- 公共ライドシェアの導入など交通空白の解消に取り組む市町への支援 [130百万円]
- バス・タクシーの運転士不足への対応 [24百万円(2月補正(その1))]

弱点克服:「移動手段、交通の便利さ」全14分野の中でワースト1位 ※みえ県民一人アンケート(第2回)



みえU18会議

<若者の声>
「車がないと生活できない」
「公共交通の利便性が低い。住み続けるのに最低限必要なのはコンビニや便利な交通網」



紀北町 おでかけ応援サービス「えがお」(公共ライドシェア)



地域座談会

<高齢者の声>
「免許返納したくてもできない」
「ドアtoドアの輸送があると良い」

令和7年度当初予算 主要事業の紹介

成長産業の振興

R7当初：33.9億円 [前年度比23.1%増]

II. 未来を拓く / 2. 産業の成長支援

- 半導体関連産業の集積や投資促進
(方針策定、企業・高等教育機関と連携した人材育成・確保) [23百万円]
- 洋上風力発電に係る国の次期実証事業への応募を見据えたポテンシャル調査の実施 [5百万円]
- スタートアップ創出支援
(インキュベーション施設の整備や企業の一部機能(調査・設計部門等)の誘致に係る進出企業への補助) [60百万円]



オランダのウインドファーム
(出典：資源エネルギー庁ホームページ)

農林水産業の振興

R7当初：106.8億円 [前年度比8.1%増]

II. 未来を拓く / 2. 産業の成長支援
3. 観光・プロモーションの推進

- 伊勢茶のブランド展開戦略の構築、海外プロモーションや関西茶品評会でのブランド価値向上に向けた支援 [15百万円]
- 真珠、青さのり、マハタ養殖における遺伝情報を活用した育種の実施、新魚種導入の検討 [30百万円]
- 農業・林業・水産業の各分野の多様な担い手の確保に向け、受入環境の整備等を支援 [47百万円]
- 第44回全国豊かな海づくり大会～美し国三重大会～の開催 [672百万円]



写真提供：大分県

受け継ごう 命あふれる 清い海



第44回
全国

豊かな海づくり大会

～美し国みえ大会～

令和7年度当初予算 主要事業の紹介

観光振興

《インバウンド誘客関連予算》

R7当初：18.9億円 [前年度比149.3%増] ※令和6年度2月補正（その1）含み

II. 未来を拓く / 3. 観光・プロモーションの推進

● インバウンド誘客 反転攻勢への対応

弱点克服:インバウンドの回復率 全国47位 ※令和元年10月比

- インバウンド誘客に関する戦略策定
[16百万円（一部2月補正（その1））]
- インバウンドに対応した受入環境の
充実への支援
(宿泊施設の和洋室化等への補助) [608百万円]



● 観光誘客のさらなる推進

日本人宿泊者数 R元:687万人→R6:694万人(回復率100.9%)

UP!!

- 平日の需要喚起に向けた旅行者の県内周遊の促進
[86百万円（一部2月補正（その1））]
- 斎宮歴史博物館の展示リニューアル
に向けた設計、史跡公園整備計画
策定のための調査 [35百万円]



令和7年度

みえ 未来 基礎固め

予算

